

実証成果 (株)吉野家ファーム福島 (福島県 白河市)

実証参加
教育機関福島県立修明高等学校
福島県農業総合センター農業短期大学校

実証課題名

スマート農業機械化体系による大規模露地野菜の労働力削減の実証

経営概要

46ha(水稲35ha、キャベツ4ha、白菜5ha) うち実証面積:キャベツ4ha



導入技術

①直進オートトラクタ ②ICTキャベツ収穫機 ③リモコン式草刈機 ④農業散布用ドローン ⑤自動播種機



目 標

労働時間30%削減、ICTなどを活用した自動操舵型農機等により、所要労働人数の削減

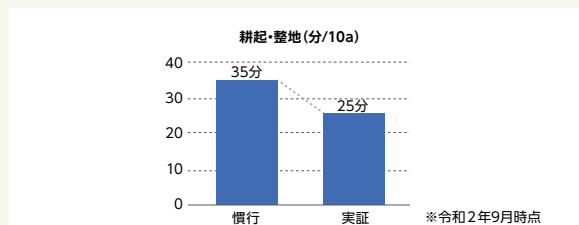
1 実証成果の概要

○直進オートトラクタ、ICT付キャベツ収穫機、リモコン式草刈機、農業散布ドローン、全自動播種機等により、キャベツの作期全体の労働時間を約30%削減(30時間/10a→20時間/10a)、人数を約25%削減(13人/10a→10人/10a)し、感染症の拡大に伴う労働力不足を解消。

2 導入技術の効果

直進オートトラクタ

- 耕起作業では、作業時間を導入前より30%効率化(トラクタの設定・運搬等の準備作業を含む。)



作期全体の労働時間

- 直進オートトラクタ、ICTキャベツ収穫機、リモコン式草刈機、農業散布ドローン等により、キャベツの作期全体の労働時間が約30%削減(30時間/10a→20時間/10a)

※令和2年12月時点

項 目	導入前	導入後	差(①-②)
直進オートトラクタ	1.7時間	1.1時間	△0.6時間
ICT付キャベツ収穫機	24.0時間	17.0時間	△7.0時間
リモコン式草刈機	1.0時間	0.5時間	△0.5時間
農業散布用ドローン	0.6時間	0.1時間	△0.5時間
全 体	30.0時間	20.0時間	△10.0時間

3 人材育成の効果(参加した学生の声)

- 農業系短大と高校の学生23名に対し、直進オートトラクタ等を用いて生産現場での実習を5回行った結果、これらのスマート農機を導入した生産者と同等程度の作業能率を実現。
- 農業高校のインターンシップ活動で、今回初めて学生8名が吉野家ファーム福島を選択し、3日間農機類の操作を含め体験実施。
- 現場実習に参画した短大生2名を、新規雇用として採用。



4 今後の課題・展望

- キャベツ収穫作業の操作技術をマスターし、効率化を行うことにより、更なる労働時間の削減を目指す。
- 販路を拡大し、自社及び近隣市町村の農家とシェアリングすることで、スマート農機の稼働率を上げ実質的なコスト低減に繋げる。

問い合わせ先

吉野家ファーム福島 ☎(0248)33-1510 (e-mail:k.takita@yoshinoya-farm.com)